

2023 年度大分県在宅医療セミナーを開催しました。

近年、高齢化の進展等により在宅医療のニーズは高まっており、より多くの医療機関に訪問診療、往診などの在宅医療を担っていただく必要があります。

そこで 2020 年度から、大分県からの委託で大分大学医学部附属地域医療学センターが事業を担い、医療従事者向けの在宅医療に関するセミナー等の事業を実施することとなりました。

今年度は大分県全体を対象とした在宅医療セミナー、地域の問題点を発掘するための地域セミナー、アドバイザー事業の 3 つを行いました。

2024 年 2 月 3 日に大分県全体を対象とした大分県在宅医療セミナーを WEB で開催しました。私塩田が「大分県の在宅医療に関するアンケート調査」と題して講演を行わせていただきました。特別講演は東京医科歯科大学 介護・在宅医療連携システム開発学講座 木村琢磨教授に「良い在宅医療とは何か、在宅医療の質」と題してご講演を賜りました。在宅医療の質を、だれが、どのように評価するのか、良い在宅医療とはどのようなものをいうのか、についてアカデミックな観点から考えることができました。今後の大分での在宅医療のシステム作りには参考になると実感しました。

本セミナーには 45 名(医師 37 名、看護師 1 名、そのほか 7 名)が参加され、参加者から活発な質問、コメントもあり、今後の大分県の在宅医療の向上に貢献できたと思われま

地域セミナーは国東市と竹田市で行いました。国東市では 1 月 24 日に国東市民病院ふれあいホールで開催し、医師 5 名、その他 8 名が参加しました。特別講演として大分市連合医師会在宅医療部代表の木下昭生先生より「大分市医師ネットワーク会議の取り組み」と題してご講演賜りました。その後参加者のグループワークにて、国東市の在宅医療の問題点を議論を話し合いました。国東市では訪問診療を行う医療従事者のマンパワー不足が問題となっていること、医療機関同士の連携を今後どのように取っていくかについて熱く語られていました。竹田市では 2 月 20 日に竹田医師会病院で開催し、医師 6 名、その他 14 名が参加しました。国東市と同様に木下昭生先生より「大分市医師ネットワーク会議の取り組み」と題してご講演賜りました。その後グループワークにて、竹田市の在宅医療の問題点を議論を話し合いました。医師数が少なく顔の見える関係が構築されているという利点がありました。しかしながら訪問診療を行うとなると医師以外の医療従事者の数が少なく、かつ家族のサポートを得られないことも多く、在宅で見ていくことの困難が浮き彫りとなりました。

アドバイザー事業では 3 つの医療機関に対し、日々在宅医療を精力的に行っているクリニックの医師からアドバイスをを行いました。在宅医療の現場での行い方のみならず、診療報酬の保険請求や必要な書類作成の方法など、実践的なアドバイスができていました。

文責：塩田星児

